



日本共産党文京区議会議員
まんだち幹夫 通信
2015年 秋号

“みなさんをいつもまんやかに”

■区議団控室：5803-1317（直通）
■事務所：小石川2-17-25 柏木ビル 101
■Tel：3830-0063 Fax：3830-0069

メール：mandachi@jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp
http://www.jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp/



「戦争法廃止の政府」の呼びかけ

日本共産党
志位和夫委員長

……自治体として憲法と区民をまもる姿勢を



国会最終盤の国会前集会（右）と8月30日の大集会（上）。なぜか違う方を向いています。



すべての政党・団体 思想・信条の違いを超えて戦争法廃止、平和主義、民主主義をつらぬく新しい政治をつくろう

9月19日未明、参院本会議で戦争法案（安保法案）が安倍政権与党の強行採決で可決しました。多くの識者、国民がまぎれもない憲法違反と指摘し、空前の国民的運動が広がったなかでの暴挙です。

日本共産党の志位和夫委員長はその日、「戦争法廃止、立憲主義の回復」の一点で共同した政府をつくることを、それまで法案強行に反対し共同してきた各野党と、団体、国民に呼びかけました（詳細は共産党のホームページ参照）。

私も何度も国会や集会に出向き、反対運動の広がり

10月2日から15日までの実質7日間、平成26年度の決算審査が行われました。私も委員の一人として、歳入、歳出や特別会計の審議をしました。

歳入は、区税や特別区交付金などが当初予算を大きく超えて収入となり、歳出との差、実質収支額が46億円になり、率で見ると港区に次ぐ高率です。区の貯金である基金も、こうした影響で、総額616億円にもなりました。しかし区は、引き続き毎年、育成室・幼稚園保育料や、駐輪場の「受益者負担の適正化」という値上げを強めています。さらに育成室、戸籍、

決算委
で審議

潤沢な予算は、区民のくらし応援に
憲法を生かした区政運営に

共産党は決算
を「認定せず」

保育園など民営化を進め、現場スタッフの大量退職や区民サービス低下など異常な事態をつくりだしています。

決算委員会ではこうした区政運営を指摘し、一般会計と国保、介護保険、後期高齢者医療の4会計を「認定せず」と反対しました。

法律・くらしの相談会

毎月第1・3木曜日の午後3時から、まんだち幹夫・小竹ひろ子事務所で行います。

事前にご連絡を
TEL 3814-1076



後楽園駅にて



請願、本会議で逆転採択！

（9月定例議会で採択した請願：中面に詳報）

◆特養ホームの増設
◆公衆浴場の調査、営業継続の方策 ◆原発再稼働中止 ◆羽田空港離陸便の文京区上空通過の停止

「私立認可保育園中心」の待機児童対策は見直しを
区として保育所選定の基準・考え方を明確にすべき！
事業者の理念、事業の安定性、保育の質、人材確保など

今年度当初、認可保育園に入れなかった児童数は449人、どの保育園にも入れなかった待機児童は132人でした。そのため区は、来年度から新たに4つの認可保育園とお茶の水女子大学の「認定こども園」を開設の予定です（10月現在）。

私立保育園で
園児募集停止の事態に
しかし4つの認可園はいずれも「私立」、うち2か所は「営利法人」です。今年4月に認可園に移行した保育園では、経営者の交替、保育士的大量退職により、大混乱が起きています。園の定員90人のところ10月現在なんと38人に激減。さらに園児募集停止状況です。区は「職員体制と保育が安定するまで」と説明しています。

「受益者負担の適正化」で来年度から値上げ！
9月の本会議で、使用料・手数料の改定の条例が成立しました。3年前、財政の健全化と「受益者負担」を理由に、いっせいに施設使用料や駐輪場（3年間で12倍に）や保育料が上げられました。「3年ごとに見直す」と来年度から、消費税増税など理由にさらなる値上げです。礪川地域活動センターは各室100円から300円の値上げ、シビックの区民会議室は最高800円値上げです。育成室保育料は月額1万円、幼稚園は1万3千円が提案されています。子育てや生涯学習の「応援」はどこにいったの？



共産党は
反対

仮校舎めぐり質問相次ぐ 誠之小学校整備方針に

今年3月にまとめられた改築基本構想の説明会が10月に開催されました。改築時には仮校舎を校庭に建てる計画で、4年間校庭は使えません。そこでほかの土地を確保できないかとの質問が相次ぎました。

区議団はこの間、近くの駐車場など民間地も含め工事中の土地を求めてきました。区は、仮校舎は「自校方式」を採らざるを得ない」としていますが、柳町の勉学、遊びを考えた場合、「他の場所」を追求すべきではないか。検討にすべきではないか。



区は、寺院との契約更新にあたって今後の検討をするとのことですが、公有地など活用し、低料金で安心して使用できる葬祭場の確保が求められています。

区民斎場の使用
使いやすい斎場の確保を
今年も
ゼロ！

決算では執行額が0円というものがありません。その一つが「区民斎場」事業。向丘の寺院が斎場として登録されていますが、区から利用者への補助金はありません。一昨年、昨年2年間使用がまったくない状況です。区は、寺院との契約更新にあたって今後の検討をするとのことですが、公有地など活用し、低料金で安心して使用できる葬祭場の確保が求められています。



まんだち幹夫
かけある記

◆8月29日 夕方、戦争法案反対の地域パレード。柳町の商店街を中心に歩き、訴え。翌日ある商店主が「パレードやったのですね。オシャレだね。がんばって！」と激励も。

◆9月19日 町会の「ごもまつり」。奉納者の対応など、2日間神酒所に詰めました。若い家族が増えたことを実感します。さらに町内でもマンション建設で増える見込みです。

◆10月3日 午前、礪川小と柳町小の運動会に行きました。さらに児童数が増えて活気がありますが、柳町小のグラウンドがどうなるか心配。夕方、党の会議と町会の定例会。

日本共産党文京区議団ニュース



第91号
2015年
秋号

ホームページ: <http://www.jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp/>
Eメール: mail@jcp-bunkyo-kugidan.gr.jp

区政へのご意見・ご要望をお寄せ下さい。

日本共産党 都バス車庫跡地は区民のために活用を 緊急申し入れ 使用料 基金616億円でも区施設値上げ!! 決算委員会等で中止要求

区施設等値上げ条例23件も 共産・市民は反対

9月議会に、区民施設の使用料などを来年度から引き上げる23件の条例が提案されました。「受益者負担」を口実に、光熱費や維持管理人件費の増加と消費税増税等を値上げの理由とする区側に、日本共産党は616億円もの基金（貯金）があることを示し、値上げストップを求め論戦。しかし、未来(民主等)・自民・公明の賛成多数で可決されました。

3年前に続く一斉値上げで、年間8300万円の負担増、前回と比べても大幅値上げです。

区の説明には福祉や社会教育という考えが欠如しています。「税金の2重取りだ」「財政は豊かなのになぜ値上げ」「そんなに高くなれば使えない」との声があります。際限なく区民に押し付ける「受益者負担」をやめさせる必要があります。



また値上げの体育館使用料

区が 春日2 特養用地取得 国有地

特養ホーム増設（約100床）のため、懸案だった春日2丁目の旧建設省宿舍跡地（巻石通り沿い）は、区が約10億円で購入することで決着。今後は応募事業者が土地を借り受け、建物を建設し2018年4月開設予定です。

都バス車庫跡地に高齢者・児童施設を

茗荷谷駅近くの都バス大塚車庫跡地活用について、区は9月25日東京都に対し、「活用したい」との回答を表明しました。

日本共産党区議団は、3月末に閉鎖



申し入れ文書を副区長に渡す区議団
(左より、板倉区議、小竹都議、島元区議、1人おいて萬立、国府田、関川、金子、福手区議)

された後、子育て・高齢者・障害者の複合施設として活用できるよう都知事へ申し入れ、5月現地調査、6・9月議会での質問等で提案し、再度9月18日に区長申し入れを行いました。

区内全域からのアクセスも良く、7256㎡の広大な敷地は、区民の多様な要望に応えるためにも、福祉インフラ以外にも活用できるよう、引き続き要求していきます。

子どもたちによりよい施設を！

柳町小学校は改築を！

柳町小では児童増での増築をめぐり、「やなぎの森」を守れと運動が継続中です。築50年以上の校舎は老朽化が極めて激しく、私達は、一部増築ではなく全面改築とし、誠之小等と同様に改築構想検討委員会を立ち上げ、「森」を含めた改築構想の民主的協議を行ないすすめることを提案しています。

誠之小、明化小の改築問題

誠之小校舎は東京一古い築90年、明化小は築85年。誠之小は設計が始まる段階で、学校説明会が開催され、仮校舎で校庭が使えなくなることを巡って意見が相次ぎました。他所での仮設建設の再検討が必要です。明化小は関東大震災後の改築校舎で、文化財級との評価もある旧校舎の継承をすべきです。

民営化の保育園や育成室で問題が表面化

会社買収で経営者が交代となった認可園は保育士の大量退職で体制が整わず募集を休止。在園児は定員90名中38名。区は保育の質を確保するため、営利会社の保育園誘致は見直すべきです。

また育成室は、2年前指定管理者制度を導入した千石育成室で職員の大量退職、児童も相次ぎ退室した教訓に学び、今後増設する4室は区直営にすべきです。

待機児の受け皿「臨時保育所」開設

区は認可園の待機児対策のため、来年4月、礪川公園内に定員62名の「臨時保育所」を開設します。民間事業者の運営による認可外保育所で、耐震改修中の向丘保育園が使用している仮園舎を活用するものです。共産党は、引き続き認可園増設へ全力で頑張ります。

区議会に変化が

「不採択」の請願が本会議で「採択」に

7件の請願が採択された6月議会に次いで、9月議会でも6件の請願が採択され、区議会はこれまでと違った様相になりました。

今議会では12件の請願のうち、共産党は10件の紹介議員となりました。請願を審議する各常任委員会では、採択1、不採択9、保留2。しかし、委員会でも不採択となった①特養ホームの増設②公衆浴場の確保2件③原発の再稼働中止④羽田離陸航空機の上空通過停止を求める請願は、本会議での起立採決で「採択」となりま

した。今期の議員構成により、本会議での採択では賛成多数で区民の声が通りやすくなりました。

共産党区議団が区民の要望を大切に聞き、紹介議員として粘り強く請願に向き合ってきたことが、こうして実を結び始めたといえます。



9月で廃業した菊水湯

十月からマイナンバーの「通知カード」が世帯毎に簡易書留で送付されます。国は、来年一月から税、社会保障、災害の三分野で利用を開始しますが、そればかりか預金口座など官民を問わず多くの個人情報をも一つの番号で管理しようとしています。



施設入所などで受け取れない「不達」は文京区で二五%と見込まれるなど制度の前提を揺るがす事態です。情報漏えいや、悪用されれば取り返しがつきません。甚大なプライバシー侵害、なりすましなど犯罪にもつながりかねません。総務省調査では八〇%の国民が懸念や不安を示しています。日本共産党は、制度を中止するとともに、個人番号カードがなくても行政手続きができることを周知するよう求めています。

危険なマイナンバー制度は中止を